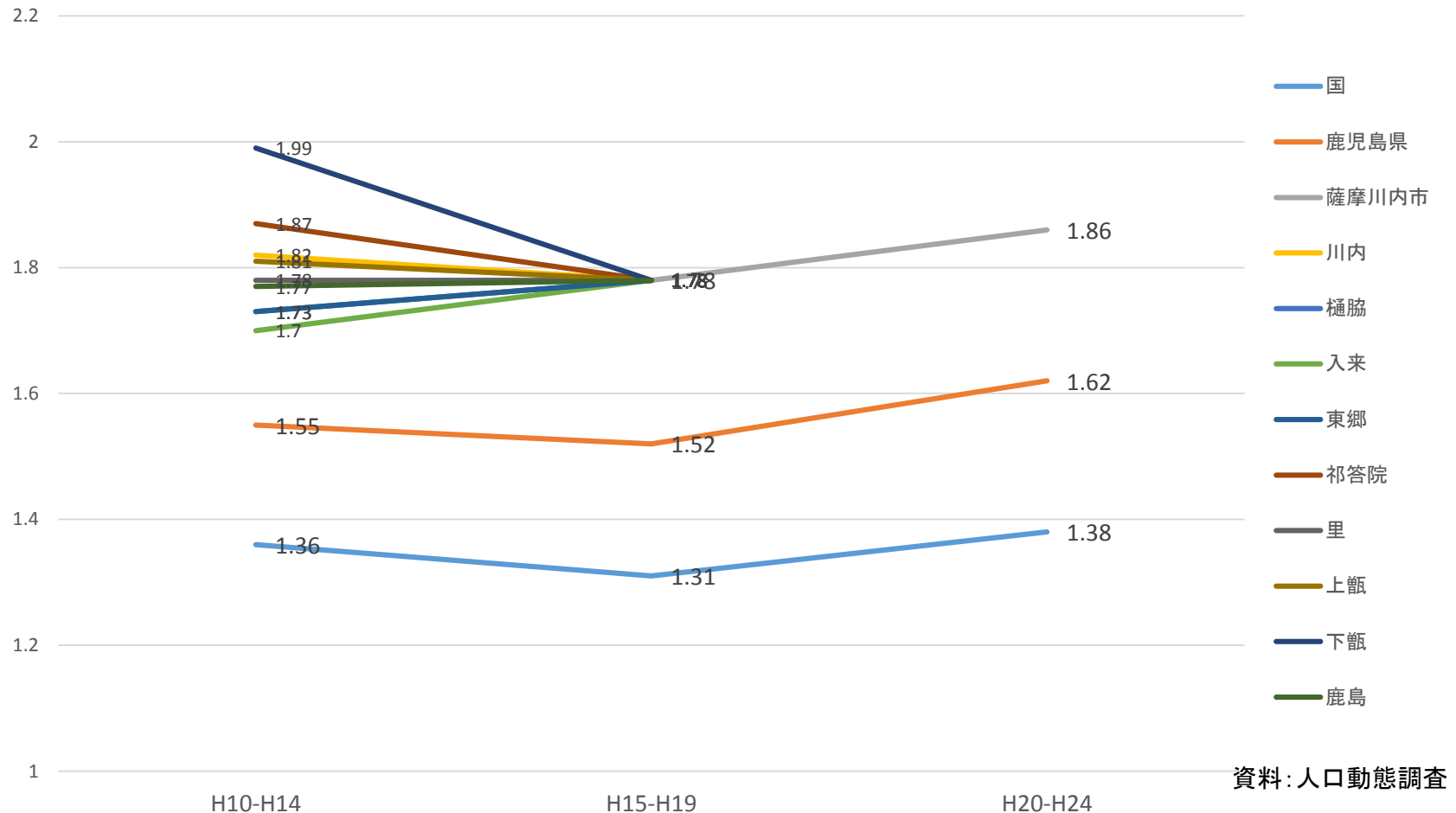


合計特殊出生率

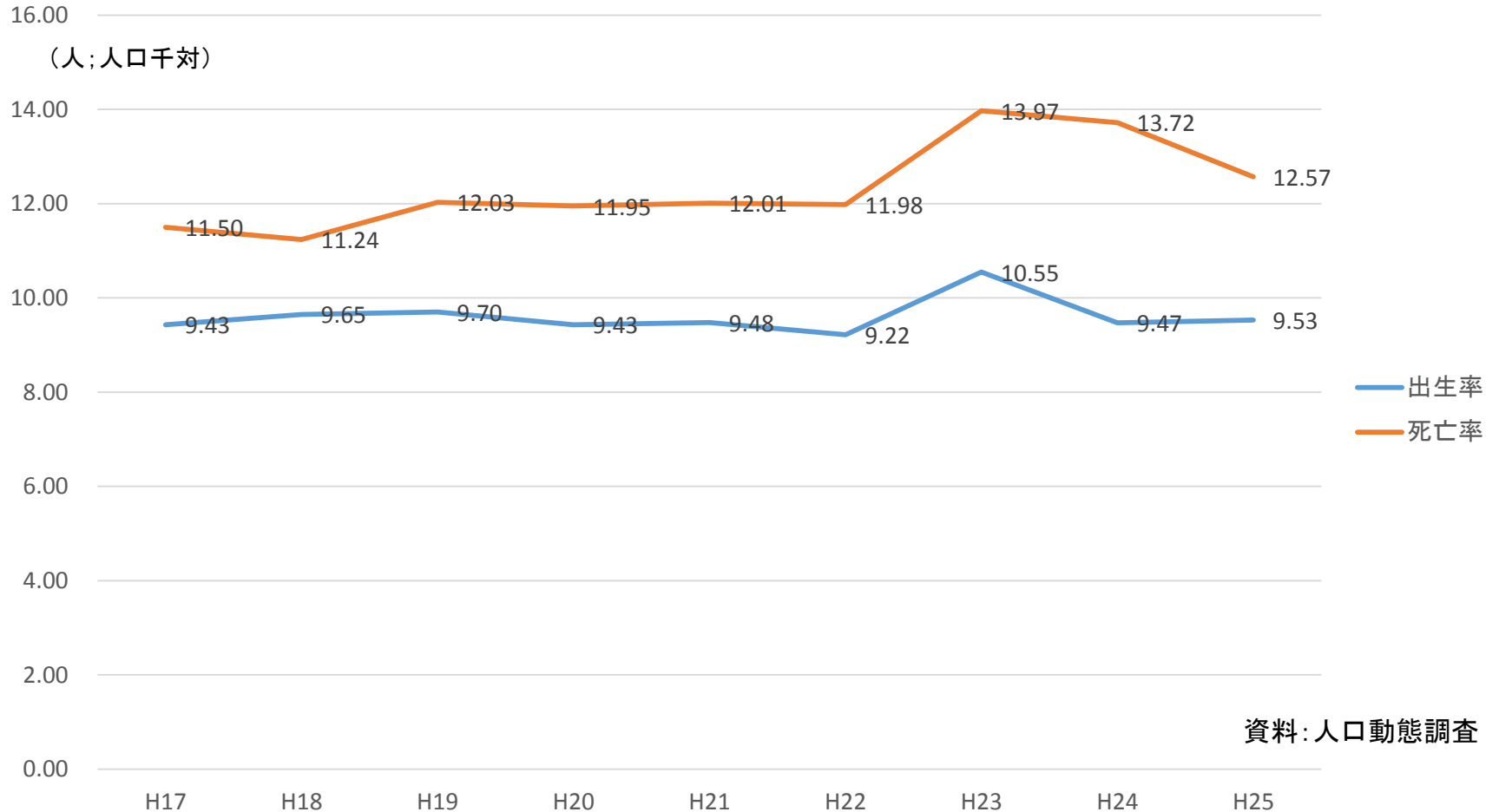
15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。



平成19年までは全体として減少傾向であったが、近年は平成20年以降は上昇傾向へ転じ、国や県の水
準よりも高い水準を維持している。
なお、人口置換水準(自然増減の境界水準)は2.07程度とされている。

出生率・死亡率

1年間の出生数若しくは死亡数をその年の人口(10月1日現在)で除したもので、1,000人当たりの出生数、死亡数を表すもの。

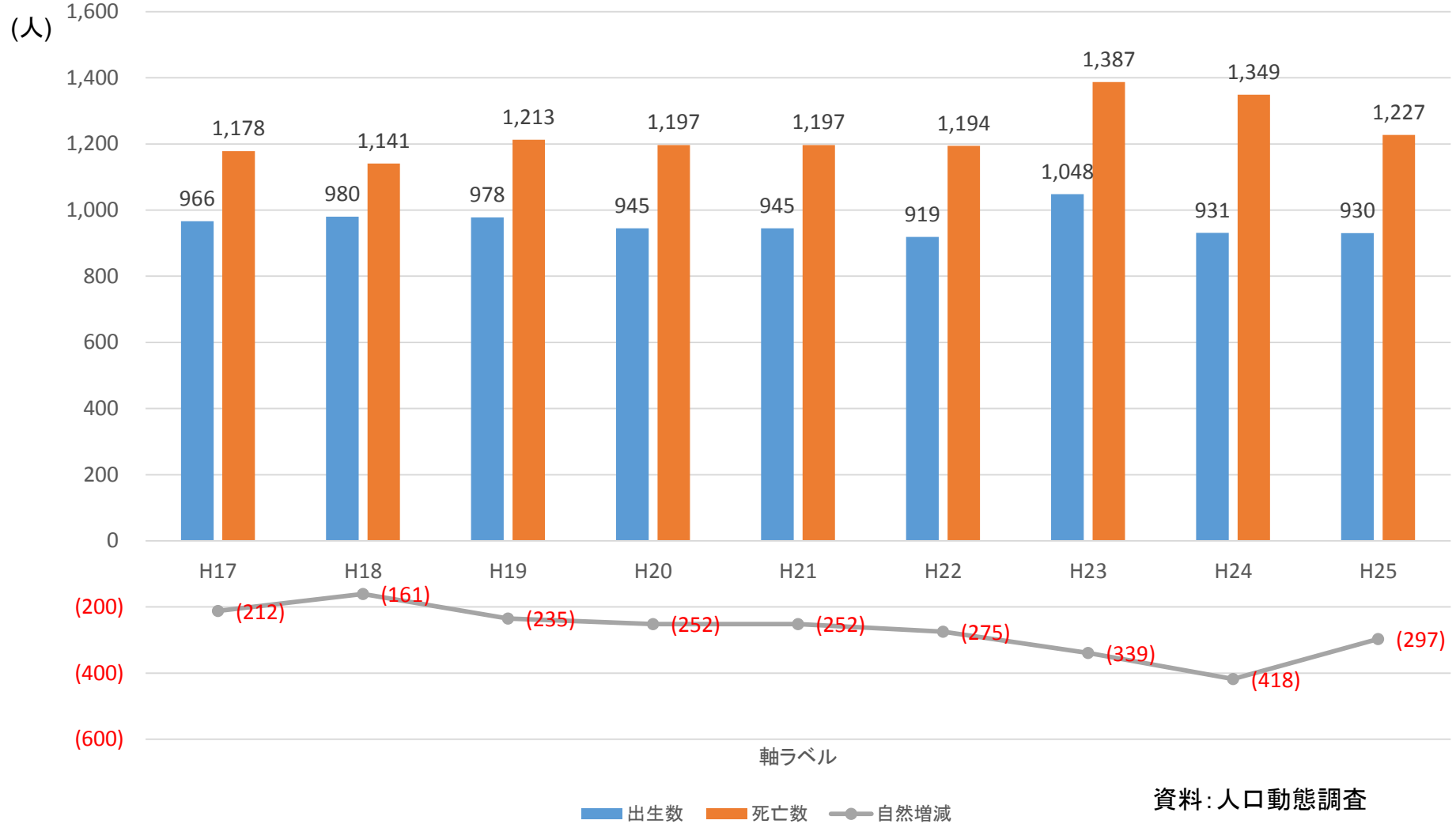


若干の変動はあるが、出生率・死亡率ともほぼ横ばいである。
国の数値は出生率8.2、死亡率10.1(ともに平成25年)で、国の水準より高くなっており、出生率・死亡率の差も大きい。

出生数・死亡数

1年間の出生数及び死亡数

* 自然増減数＝出生数－死亡数

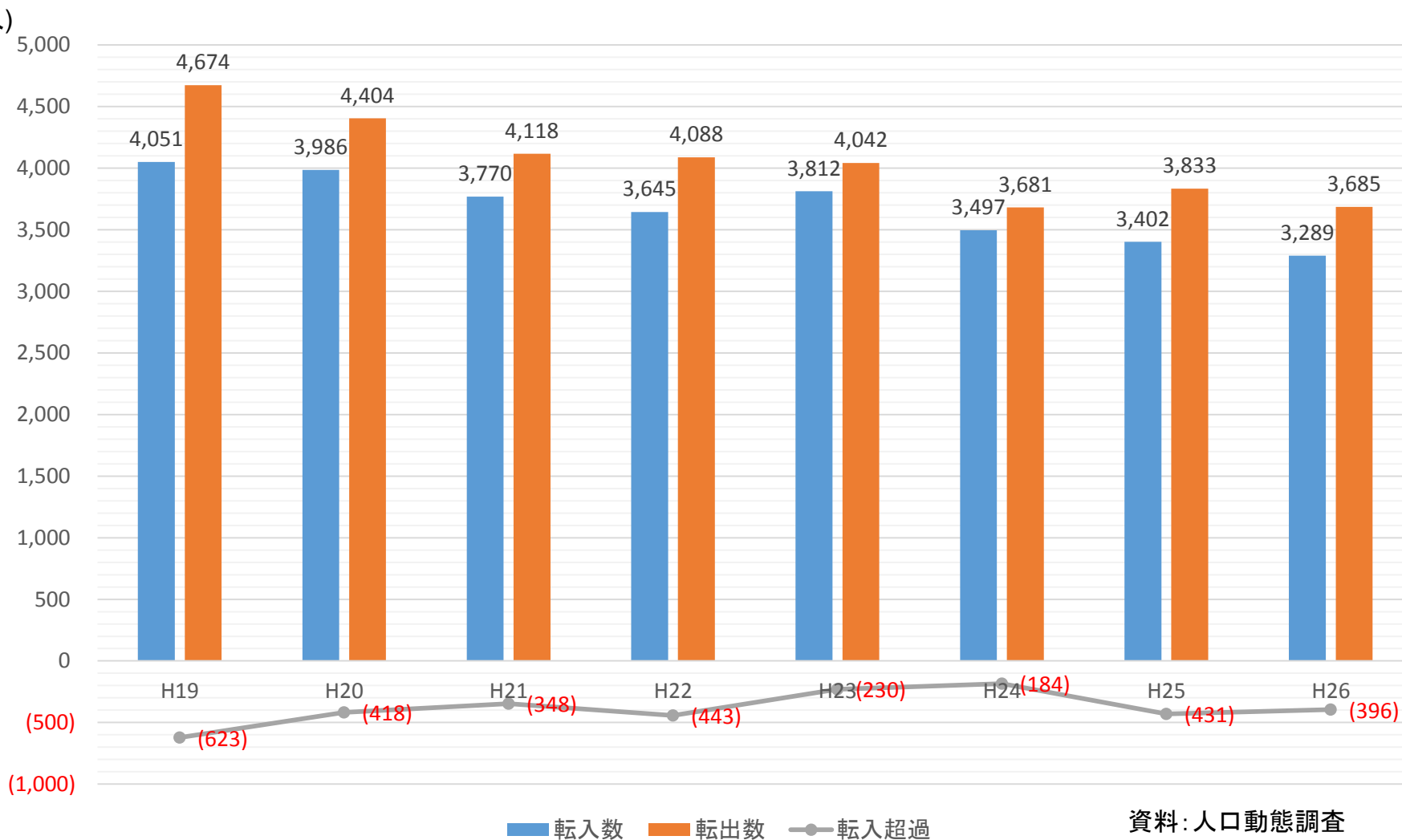


出生数・死亡数とも変動幅は小さいが、徐々に出生数と死亡数の差が大きくなっており、人口自然減少が進んでいる。

転入者数・転出者数

1年間の転入者及び転出者の数

* 転入超過数 = 転入者数 - 転出者数



転入・転出者数は減少傾向であるが、一貫として転出超過となっている。ただし、転出超過の数値の変動幅は小さい。